

山崎延吉胸像について

久野庄太郎の山崎延吉胸像

2022年7月7日、開館した久野庄太郎記念館「愛水館」を訪ねたとき、久野庄太郎が生前使っていた玄関（愛水館の玄関とは異なる）の飾り棚に、山崎延吉胸像が置かれていることに気づいた。これまで久野が山崎から様々な示唆を受けていたこと、また山崎を慕っていたらうことは理解していたが、胸像を持っていたとはこれまで知らず、どのような経緯で山崎の胸像を持つことになったのかに興味を湧いてきた。



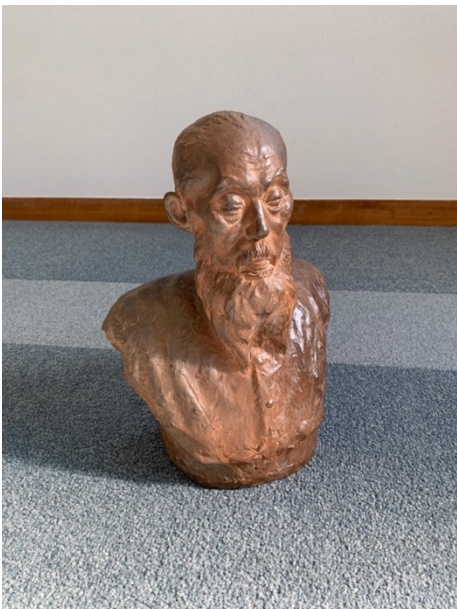
山本孝平の山崎延吉胸像

2022年9月4日、あいち知多農業協同組合代表理事組合長・山本和孝氏より父で知多農村同志会・山本孝平の愛知用水に関する資料があるという連絡を受け、ご自宅を訪問した。床の間には山崎延吉胸像が置かれていた。久野が所有していたものと同じように思われ、撮影した。知多農村同志会の方たちは山崎延吉胸像を持っていたのだろうか。



富谷茂吉の山崎延吉胸像

2023年1月12日、東海市在住の森真佐子氏を訪ねた。真佐子氏の父・富谷茂吉は知多農村同志会の人物で、『富谷茂吉日記』が出版されており、森氏はその編者でもある。山崎延吉胸像について聞いてみると、やはり富谷茂吉も持っていた。現在は本家の倉庫にあるとのことだった。後日、愛知用水土地改良区美浜事務所長・大野氏から、富谷茂吉長男・茂治氏に確認したところ、胸像の存在を確認することができたという。また茂治氏からは、長年倉庫にあるままなので愛知用水土地改良区に寄贈したいとの申し出があった。そして茂治氏が美浜事務所に胸像を持参されたとのことである。現在は愛知用水土地改良区にて保管されている。





3つの山崎延吉胸像

改めてこれら3つの山崎延吉胸像を見比べてみると、胸像は類似している。しかし服装等を丁寧に見てみると、同じものではない。ということは、山崎延吉胸像は3者が知多農村同士会であったとしても、同時に入手したものではないのではないか。はたしてそれぞれがどのような経緯で入手したのかまでは不明だが、まだ所有者はいるのではないかと考えられる。

(公財) 愛知・豊川用水振興協会研究員 達 志保